

令和6年度

令和7年3月7日発行

岩根中だより

第9号 文責：中尾

学校教育目標（本校の最上位目標）

誇りを持って主体的に生きる生徒の育成 ～ 挑戦 継続 感謝 ～

祝 卒 業

59名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんが、義務教育9年間の課程を修了し、今日ここに新たな門出を迎えられたことを、教職員一同大変嬉しく思います。

3年前、不安と期待に胸を膨らませて、みなさんはこの岩根中学校に入学してきました。私はこの年の2学期に初めてみなさんと出会いましたが、当時はまだ小学生の面影を残していた人も多く、みんなとてもかわいらしいなあと感じたことを今でも憶えています。その後みなさんは、切磋琢磨しながら日々成長を遂げ、3年生になる頃には心身共にすっかり見違えるほど立派に成長しました。この1年間は、生徒会活動や部活動、駅伝などで最高学年として後輩にお手本を示しながら、体育祭や岩中祭などの大きな行事を成功させてきました。様々な活動や行事を通して、多くのよい思い出をつくることができたのではないかと思います。そして11月以降は、自らの進路決定に向けて受験勉強に打ち込み、人生最大の試練となった高校受験を乗り越えて今、みなさんは新たな道へ旅立とうとしています。そんなみなさんへ、私から最後の話を贈ります。



みなさんは、自分の足が速かったらよかったのと思ったことはありませんか？私はありました。私は学生時代、運動会のかけっこなどで1等賞を取ったことが一度もありません。足の速さは親の遺伝だからと、自分の足が遅いことを遺伝子のせいにして悔しさを紛らわせていました。みなさんは、足が速い人と遅い人がいるのはなぜだと思いますか？

動物のチーターは、あらゆる動物の中で最も足が速いと言われています。足が遅いチーターは存在しません。なぜなら、足が遅いチーターは獲物を捕らえることができず、生き残れないからです。でも私たち人類には足が遅い人がいる。これは、人類は足が遅くても生き残れたということです。このことは足の速さだけに限りません。勉強が得意な人もいれば苦手な人もいる。腕力が強い人もいれば弱い人もいる。手先が器用な人もいれば不器用な人もいる。社交的な人もいれば引っ込み思案の人もいる。イケメンの人もいればそうでない人もいる。こうした個人の特徴のことを、個性と呼んでいます。様々な個性は、多様性を生み出します。実は、地球環境の急激な変化に対応し生き残るためには、この多様性が大きな武器となるのです。つまり、足が遅いということも、勉強が苦手ということも、イケメンでないということも、すべて人類が生き残るために価値があることなのです。

では、人類が生き残るための一番の武器は何だと思いますか？

今現在、この地球上に存在する人類は私たち1種類だけです。ホモ・サピエンスと言います。しかし過去には、ホモ・サピエンス以外の人類も存在しました。例えばネアンデルタール人。ネアンデルタール人とホモ・サピエンスを比べると、ネアンデルタール人の方が体も大きく、力も強く、優れた知能を発達させていたと考えられています。私たちホモサピエンスは、ネアンデルタール人よりも弱い存在だったのです。しかし、強いはずのネアンデルタール人は滅び、弱いはずのホモサピエンスが生き残りました。弱い存在だったホモ・サピエンスが生き残れたのはなぜでしょうか。それは、力が弱かったホモ・サピエンスは、助け合う能力を発達させたからです。足りない能力を互いに補いながら、自然界を生き抜いてきたのです。一方、力があり知能も優れていたネアンデルタール人は、助け合わなくても1人の力で生きていくことができました。しかし長い歴史の中で、大きな環境の変化や突発的な災害に1人の力では対応することができず、滅んでしまったと言われています。

もうわかりましたね。私たち人類に共通して備わっている一番の武器は、助け合う能力です。おそらく私たちは、助け合いの遺伝子を先祖代々大切に受け継いできているのです。これからみなさんが飛び込んでいく新しい世界は、よいことばかりとは限りません。おそらく自分の思い通りにならないことや、厳しい現実の数多く遭遇することでしょう。そんな時こそ、誰もが持っている助け合う能力を発揮して、その壁を乗り越えてほしいと思います。自分が苦しいときは誰かに助けてもらい、誰かが苦しんでいたら自分が助けてあげる。人類の一番の武器である助け合う能力をより多くの人が発揮することで、誰もが幸せな生活を送ることができ、ひいては人類の繁栄にもつながっていくと私は信じています。みなさんがこれからも日々成長を遂げ、お互い助け合いながら、誇りを持って自分の人生を生きていくことを願っています。

※第78回卒業証書授与式 学校長式辞より抜粋(参考文献:遺伝子はなぜ不公平なのか? 稲垣栄洋 朝日新書)



卒業
おめでとう!

